

<p>豊田市</p>	<p>所属議員</p>	<p>塩谷、作元、中村、古木、吉野、日當、鈴木、中尾、倉山、山本（10名）</p>
<p>産業目線 【活動選定項目】</p>	<p>① カーボンニュートラル(CN)への対応</p>	
<p>具体的取り組み項目</p>	<p>①国からの「地域脱炭素ロードマップ」に対して、市独自で水素社会根の取組を行うなど、先進的に活動を展開する。 ②豊田市環境基本計画や豊田市地球温暖化防止行動計画に具体的なシナリオや、活動期間での目標位置を設定し計画を進める。 ③他市との連携を図り、インフラ整備や環境配慮行動の促進を行う。</p>	
<p>前回まで 活動状況</p>	<p>①6月議会で一般質問【吉野議員】 ②令和4年度に政策要望した項目に対する市の取組確認</p>	
<p>今回 具体的活動</p>	<p>I、9月議会一般質問【作元議員】</p> <p>①エネルギーの地産地消の推進について、公共施設の ZEB 化の取組を問う。 答弁:新築施設(含む新博物館)は Z E B 基準の省エネ性能を目指し、既存施設は照明 LED 化、太陽光発電を設置していくように計画していく。</p> <p>②脱炭素化に向けた水素利用など、更なるクリーンエネルギーの普及促進を問う。 答弁:燃料電池バスの運行や燃料電池自動車や家庭用燃料電池の補助事業を実施し、国の「J-クレジット制度」を活用した市内循環と水素を利用した脱炭素化を促進していく。</p> <p>③脱炭素先行地域に向けた再トライの今後の方針を問う。 答弁:民生部門と産業・交通分野など多様な分野の取組を合わせた官民連携を進め、先進的な環境・エネルギーの取組に最適な支援制度を選択し活用していく。</p> <p>II、「令和5年度に向けた政策要望」を太田市長に申し入れ(CN項目を抜粋)</p> <p>①脱炭素先行地域選定への取組 →他市の状況を見極めて脱炭素先行地域再応募の取組を要望。</p> <p>②公共施設への創エネ設備設置に向けた取組 →初期投資等がかからない PPA 事業等の創エネ設備設置の取組を要望。</p> <p>③豊田市カーボンニュートラル創設促進補助金の対象拡大 →創エネ設備の導入補助制度に加えて、省エネ設備にも対象拡大を図る取組を要望。</p> <p>④脱炭素スクール成果事例の活用による市内事業者への啓発強化 →全ての市内事業者に対し CN の意識醸成に取り組むことを要望。</p>	<p>【図や活動の様子が分かる写真など】</p>  <p>作元議員</p> <p>全ト労連 HP</p> <p>8月23日太田市長に申し入れ！</p>
<p>今後の活動</p>	<p>*政策要望：来年1月末の予算立案までの間、要望内容が反映されるよう一般質問や各常任委員会等を通じて積極的に働きかけていく。</p> <p>トピックス：9月議会補正予算 新設*省エネ設備導入支援補助金 5億円 中小事業者等のI-TELETY設備が対象</p>	